

第8回気象サイエンスカフェ東北 トークテーマ

参加
無料

集中豪雨はどうして起こる？ 線状降水帯って何だろう？

～みんなでざっくばらんに話してみませんか～

気象台見学も
あります

日時

2018年 **3月4日(日)**
14:00～16:00(開場13:30)

話し手(話題提供者)

高野健志さん
(仙台管区気象台気象防災部予報課)

ファシリテータ(全体進行)

岡田みはるさん
(一般社団法人 日本気象予報士会)

会場

仙台第3合同庁舎 2階 大会議室
(仙台管区気象台)

定員: **30**名(先着順)

申し込み締め切り:

2018年2月27日(火)



<申し込み・問い合わせ先>

日本気象学会東北支部事務局
(仙台管区気象台内) 斎藤
電話:022(297)8162 FAX:022(297)5615
メール: tohoku-admin@tohoku.metsoc.jp

申し込み時の必要事項(詳細は裏面参照)

(グループで申し込む場合、全員分をお願いします)

- ・参加希望者のお名前
- ・連絡先(メールアドレスもしくは電話番号)
- ・(差し支えなければ)ご所属(会社、学校、団体)

第8回気象サイエンスカフェ東北

トークテーマ

集中豪雨はどうして起こる？ 線状降水帯って何だろう？

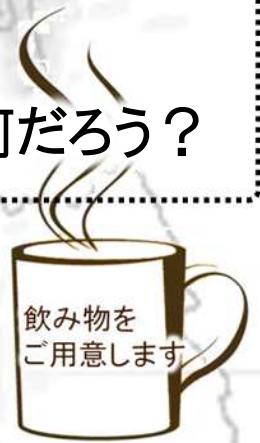
集中豪雨は、毎年各地で発生しており、社会的な関心も高まっています。
東北地方においても例外ではありません。

どうして同じ場所で数時間も強い雨が降り続けるのだろう？

集中豪雨から身を守るにはどうしたらよいのだろう？

みんなでテーブルを囲んでお茶を飲みながら、

集中豪雨や関連する素朴な疑問について、ざっくばらんに議論し、考えてみませんか？



プログラム

1. サイエンスカフェ「集中豪雨はどうして起こる？線状降水帯って何だろう？」

話し手(話題提供者): 高野健志さん(仙台管区気象台気象防災部予報課)

宮城県出身。平成16年4月に大阪管区気象台(観測課)で採用。その後、秋田地方気象台や山形地方気象台等で業務経験を積み、平成27年4月からは仙台管区気象台気象防災部予報課に勤務。現在は、宮城県の警報、注意報、天気予報等の発表を担当している。気象予報士。

ファシリテーター(全体進行): 岡田みはるさん(一般社団法人 日本気象予報士会)

2010年に気象予報士試験に合格。2012年、体調変化と天候の関係に着目したヒットアプリ「頭痛ーる」を考案、開発ディレクターを務める。「TABROID神アプリ大賞2013」受賞。その後、NEXCO東日本東北支社「ドライブングウェザー」、NHK山形「やまがた6時」、TBS「ひるおび！」に出演。その他、山形県南陽市「平成28年防災気象講演会」、祥伝社からだにいいこと「♡SARAYAリレーエッセイ」執筆など。

2. 仙台管区気象台見学会

申し込み方法

➤ メールまたはFAX等で以下の事項についてご連絡ください。なお、電話の場合、平日日中(9時~17時)にお願いいたします(担当者が不在のこともありますのでご了承ください)。

なお、お知らせいただいた個人情報適切に管理し、ご本人確認、および荒天等によりイベントを中止・変更する際の連絡を行うために利用させていただきます。ご本人の同意なしにその他の目的での利用・提供はいたしません。

① 参加希望者のお名前

グループの場合は全員のお名前(代表者が分かるようにしてください)をお願いいたします。

② 連絡先

- メールでお申し込みの場合で、連絡先のメールアドレスが申し込み時のものと異なる場合には、連絡先のメールアドレスをお知らせください。
- グループの場合は、参加者全員のメールアドレスもお願いいたします。
- FAXでお申し込みの場合はメールアドレス(利用可能な場合)、FAX番号および電話番号(携帯電話可)をお知らせください。

③ (差し支えなければ)ご所属(会社、学校、団体)、ご職業など

➤ 会場準備の都合上、**2月27日(火)**までにお申し込みください。先着順に受け付けておりますので、定員に達した場合は締め切り以前でも参加をお断りすることがあります。

➤ 参加の可否については、できるだけ速やかにお知らせしますが、作業の関係上、日数を頂くこともありますので、ご了承ください。